



伍桃だより

新 潟 医 療 福 祉 大 学 同 窓 会



特 集

新潟医療福祉大学県人会設立 ————— P1

健康栄養学科長／教授 斎藤 トシ子 健康スポーツ学科 教授／学生部長 西原 康行 同窓会長 齊藤 公二

同窓会総会報告	————— P3
同窓生は今	————— P5
学科近況	————— P7
研究室Now!	————— P10
書籍紹介	————— P10

大学TOPICS	————— P11
学友会活動紹介	————— P12
メッセージボード	————— P13
大学院お知らせ	————— P14



新潟医療福祉大学 県人会設立 対談

齊藤 公二氏 同窓会長
(写真左) 2005年 健康栄養学科卒

斎藤 トシ子 先生 健康栄養学科長 / 教授
(写真右) 福島県人会顧問

西原 康行 先生 健康スポーツ学科 / 教授
(写真中央) 学生部長

出身地が同じだとわかると親近感をもつことがあります。今年度、本学では県人会を設立することとなりました。学部学科・学年を超えて同郷の者同士の交流を図る県人会。同郷の絆はお互いを支える強い力をもっています。

県人会はどのような役割を果たすことができるのでしょうか。

齊藤同窓会長:わが母校も開学以来10年が経ち、私が在学していた頃に比べれば学生数も出身県の数も増えました。今回、県人会が設立されるとのことですが、まず、設立の趣旨についてお聞かせください。

斎藤学科長:学生数が増えてくると、学習以外の面でもさまざまな問題が起こってきます。そういった現状を考えると、学生同士の親睦を図り、メンタル面をサポートするという役割も県人会にはあると思います。同じ県出身だと気負わずに話ができるということがあるのではないのでしょうか。

西原学生部長:特に新潟以外の遠方から来ていて、一人暮らしの学生はこのような気持ちが高いのではないのでしょうか。私は長野県出身、斎藤先生は福島県出身なので、そういう気持ちはよくわかります。

斎藤学科長:初対面の人でも同じ県出身の人は、より親近感があって身近な存在に感じますね。

齊藤同窓会長:そういう意味では、同郷というのは「繋がり」をつくれますね。

斎藤学科長:もちろん、学科やクラブ・サークルでの繋がりもありますが、それ以外の繋がりとして、県人同士の繋がりもつくっていったらいいのではないかと、というのが県人会設立の趣旨です。

齊藤同窓会長:県人会は、各県すべてでつくろうとされているのですか？

西原学生部長:できればすべての県ごとに組織できればいいと考えていますが、同時に、県というくりにとらわれることはないのかなとも思います。県ごとに出身者の数にばらつきがありますし、県出身者が少ない地域では、たとえば西日本県人会といった広い地域で設立するとか、あるいは県出身者が多ければ一つの県をもっと細かく分けて、福島県なら会津地方とか、新潟県なら上越地方とか、エリアごとの分け方もできると思います。

齊藤同窓会長:県人会の設立は、今回の東北大震災のこともきっかけになったのかなと思うのですが。

西原学生部長:そうですね。大学には学科やクラブ内での繋がりはあるても、出身県同士での交流はありませんでした。今回の大震災で心細い思いをしていますが、同郷の学生についてお互いによく知らないという現状がありました。ですから、まず被災県である福島県から立ち上げようということになりました。また、福島県は広いですから、エリアごとの組織になるのかなとも

思いますが、それができれば、自分が小さい頃通っていたあの店のあの菓子はおいしかったとか、地域限定の親しい話もできますから。

齊藤同窓会長:最初は福島県全体の組織になるのでしょうか？

西原学生部長:福島県ですと、100名以上の在学生がいます。山形県や長野県も同様ですから、そういった県からのスタートになると思います。また、たとえば西日本ですと、県ごとになると人数が少ないので西日本という大きなエリアでくくった組織をつくって、あとは実際には活動しながら、学生の意向で組織の範囲を変えていけばいいかと思います。

精神的な支えともなる県人会。 どのように活動していくのでしょうか。

齊藤同窓会長:県人会の活動はどのようなものになるのでしょうか？どうやって集まってどのように活動していくか、同窓会との連携など、まだよくわからな

いのですが。

斎藤学科長: 県人会の活動は教員主導ではなく、学生主体で行われるべきものなので、学生自身の、県人会を盛り上げていこうという気持ちが大切です。ですから、活動の内容は県の独自性がでてよいと思います。

西原学生部長: それはいいことですね。今、学友会の中に部活動やサークルがありますね。県人會もそれと同じ位置付けで、学生が自分たちでこういう活動をやりたいと届け出てもらって、それぞれが活動していくということです。

齊藤同窓会長: 県人會は部活動と違って、明確な目的をもちづらゐがあるのゐ、続けていくのが難しいのではないのでしょうか。県人會によって差ができそうですし、リーダーが変わる時ゐ大変かもしれません。4年生がリーダーをやれなくなつて、2年生が4年生をまとめるようなことゐあるかもしれないですね。

西原学生部長: そういう大変さは確かにあると思います。

齊藤同窓会長: でも、繋がりゐを深めるために同郷の人ゐが集まるということが県人會のメインテーマであつて、「仲間ゐがいるからゐがばれる」というような精神的な支えになるのが県人會の役割なんですね。

西原学生部長: 同郷の人ゐをもつと知つて、ゐろゐな相談ができるのは心強いことゐですから。



斎藤学科長: 県人會は今年ゐの夏からスタートしました。まずは大きな地図に自分の出身地ゐにシールを貼つてもらふというMA Pづくりを行ゐました。茶話会では、自己紹介から始まつて、地域の話題、活動計画を話したりしています。

齊藤同窓会長: 食のこと一つとつてゐても、地域性ゐがありますね。同じ県人會の中ゐでゐくつか支部ができれば、支部の交流会をしても楽しいですね。

西原学生部長: 西日本と東日本では雑煮も違つたりしていますから、県が離れている県人會の交流会もゐいいですね。

斎藤学科長: 地域が違ふと文化も違つてきますから、そういう交流で新しい発見をすることも楽しいですね。また、方言も県人會の中ゐでなら遠慮なく話せたりするのではないのでしょうか。県人會を通じ一人でも二人でも親友と呼べる人ゐができるゐいいですね。

齊藤同窓会長: 活動には予算が必要ですが、それはどうでしょうか?学友會の位置づけになつてきますか?

西原学生部長: 学友會の予算は学生が自主的に管理しています。その予算内ゐで活動費を捻出する予定です。

齊藤同窓会長: 同窓會からもサポートすることになるかもしれませんし、お金の要素が入つてくると、組織をしっかりとつゐていく必要ゐがありますね。

西原学生部長: 今、学友會の部やサークルはそれぞれが通帳をもつて、きちんと管理

してもらっています、県人會も同様にきちんと予算の管理をしてもらふことになるとゐ思います。

県人會と同窓會はどのように繋がつていくのでしょうか。

齊藤同窓会長: 県人會と同窓會の関係を考ゐてゐると、在学中は県人會、卒業後は同窓會の支部に分かれるというイメージでしょうか。出身県と卒業後の就職する場所が異なる場合も多々あると思いますが、それはどうなりますか?

西原学生部長: それについては、斎藤学科長とも話したのですが、卒業後は出身県にとらゐれずに、就職などでゆかりのある場所の同窓會支部に入るとか、自分で選んでもらゐばゐいいかゐ思います。

斎藤学科長: 2つの県の支部両方に所属してもゐいいですね。

齊藤同窓会長: 母数が増えればそういう組織構成も可能になつてきますね。実際には、県人會の組織運営には大変なこともあるかゐ思います。でも、まず動いてゐないと始まりませんね。同窓會でも今、在学生のために何かできることを考ゐています。学科ごとに求められていることゐに対応するには、たとえばマナー講習などもゐいいかゐ思うのですが、県人會が求めることゐ対しても支援できればゐいいですね。就職状況は県ごとに違つてゐたりするので、情報提供などもできるとゐ思います。

西原学生部長: それが県人會の狙ゐの一つでもあります。卒業後、出身県にゐ戻りたいと思つている学生には地元の情報があると助かります。

齊藤同窓会長: 県人會と同窓會支部が有効に連携できるゐいいですね。現在ゐは同窓會には首都圏支部しかないので、早急に福島県支部をつくるような動きが必要ですね。同窓會としては、県人會を引き継いでゐけるような同窓會支部をつくつていくことが急務かもしれません。

西原学生部長: 若い頃はどうしても、自分の仕事への意識が高く、出身大学への帰属意識が弱くなりがちです。でも年齢を重ねると、古巣が大切だと思ゐて、若い時代を共にした仲間との繋がりゐを求めたくなります。そんなときに県人會、同窓會と繋がつているしっかりと組織があつてゐほしいですね。

斎藤学科長: 西原先生がおっしゃるやうに、自分の大学の同窓會の様子を見ても、大先輩といゐれる方々が同窓會を支えてくださっています。私も、なかなか参加できずにゐますが、同窓會のつながりは大切にしてゐいかなければゐいけないのかゐもしれませんね。

齊藤同窓会長: 同窓會の使命は、同窓の繋がりゐをずっと維持してゐいくことなんですね。同窓會の運営には予算の問題など、なかなか大変なこともあるのですが、今回発足した県人會が同窓會に引き継がれて、将来にわたつて繋がりゐを維持し、その力を発揮してゐけるやう、同窓會としても自分たちの足元を固めてゐきたいと思ゐいます。



第7回 同窓会総会のご報告

第7回新潟医療福祉大学同窓会総会で承認された平成22年度決算及び平成23年度予算についてご報告いたします。

平成23年5月29日(土)新潟医療福祉大学内、6月4日(土)東京キャンパス内で開催。

同窓会長挨拶

会員の皆様お元気ですか?各専門分野にてご活躍のことと存じます。
さて、今年もホームカミングデーの時期になりました。会員の皆様は卒業してから大学を訪れたことがありますでしょうか?なかなか足を運ぶ機会がないと思います。ホームカミングデーとは、そんな会員の皆様が懐かしい母校に足を運ぶきっかけになればと昨年からはじめました。今年は内科医のおおたわ史絵さんをお呼びしての講演会を企画しております。伍桃祭と同日開催ですので、母校の変化や、後輩の活躍も併せて見に来ていただけたらと思います。お待ちしております。



同窓会長 齊藤 公二

平成22年度 事業報告について

事業期間

平成22年3月1日～平成23年3月31日

平成22年度におきましては、本会の基盤作り・安定化および活性化に寄与する事業の推進を目標として行ってきました。

主な事業は次の通りです。

1

新潟医療福祉大学同窓会 第1回ホームカミングデー開催

記念
講演

講演者:渡部陽一氏(戦場カメラマン)
「家族の絆〜世界100ヶ国以上の家族と過ごした時間」
会場:大講堂(GA101へ中継)
参加人数:800〜900名程

交流会

会場:IA棟1階



2

新潟医療福祉大学同窓会誌・ ニューズレター定期発行

「伍桃だより5号」
10月発行
「伍桃7号」
3月発行



3

基盤整備事業

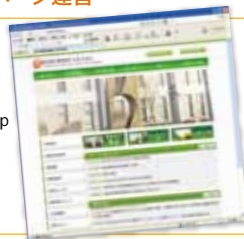
会員名簿作成・管理、
会費徴収



4

新潟医療福祉大学同窓会 ホームページ運営

<http://nuhw-dosokai.jp>



5

卒業年次生に向けての 国家試験合格祈願鉛筆配付

理学療法学科、作業療法学科、
言語聴覚学科、健康栄養学科、
看護学科、義肢装具学科、
社会福祉学科の
国家試験受験前に配付。
※健康スポーツ学科は
国家試験の受験が
ないため配付せず。



6

卒業式時における優秀学生への 同窓会長賞贈呈(図書カード、現金)

副賞として

図書カード(5,000円×44名)、
現金(30,000円×2団体)を贈呈。



学生表彰者一覧

学業成績優秀者	牛山 和樹 (ウシヤマ カズキ)	理学療法学科	学業成績優秀者	須貝 祐香 (スガイ ユカ)	社会福祉学科
学業成績優秀者	横山 絵里花 (ヨコヤマ エリカ)	理学療法学科	学業成績優秀者	土田 絵里子 (ツチダ エリコ)	社会福祉学科
学業成績優秀者	増田 知恵美 (マサダ チエミ)	理学療法学科	学業成績優秀者	佐藤 友紀 (サトウ ユキ)	社会福祉学科
学業成績優秀者	田下 拓美 (タシモ タクミ)	理学療法学科	大学院 成績優秀者	菅野 拓也 (スガノ タクヤ)	保健学専攻
学業成績優秀者	牛丸 憲史 (ウシマル ケンジ)	作業療法学科	大学院 成績優秀者	串田 修 (クシダ オサム)	保健学専攻
学業成績優秀者	吉田 翔太 (ヨシダ ショウタ)	作業療法学科	課外活動(個人)	白野 友梨奈 (シラノ ユリナ)	水泳部
学業成績優秀者	鈴木 佳奈江 (スズキ カナエ)	言語聴覚学科	課外活動(個人)	波佐谷 灯子 (ハサタニ トオコ)	強化サッカー部(女子)
学業成績優秀者	神田 美佳 (カンダ ミカ)	言語聴覚学科	課外活動(個人)	伊藤 龍也 (イトウ タツヤ)	男子バスケットボール部
学業成績優秀者	安達 勝彦 (アダチ カツヒコ)	義肢装具自立支援学科	課外活動(個人)	遠藤 紗織 (エンドウ サオリ)	陸上競技部
学業成績優秀者	笠原 麻友美 (カサハラ マユミ)	義肢装具自立支援学科	課外活動(個人)	中澤 翔 (ナカザワ ショウ)	陸上競技部
学業成績優秀者	田野 綾乃 (タノ アヤノ)	健康栄養学科	課外活動(個人)	布施 和太 (フセ カズヒロ)	陸上競技部
学業成績優秀者	小林 大樹 (コバヤシ ダイキ)	健康栄養学科	学長賞	阿部 奈々子 (アベ ナナコ)	理学療法学科
学業成績優秀者	小林 夢衣 (コバヤシ ヨイ)	健康スポーツ学科	学長賞	石附 しのぶ (イシツキ シノブ)	作業療法学科
学業成績優秀者	片山 昇平 (カタヤマ ショウヘイ)	健康スポーツ学科	学長賞	朝物 梨葉 (アサモノ リナ)	言語聴覚学科
学業成績優秀者	小林 愛衣 (コバヤシ アイ)	健康スポーツ学科	学長賞	郷 貴博 (ゴウ タカヒロ)	義肢装具自立支援学科
学業成績優秀者	西山 美希 (ニシヤマ ミキ)	健康スポーツ学科	学長賞	中島 康一 (ナカジマ コウイチ)	健康栄養学科
学業成績優秀者	柴木 憲佑 (シバキ ケンスケ)	健康スポーツ学科	学長賞	西川 利奈 (ニシカワ リナ)	健康スポーツ学科
学業成績優秀者	田中 夏実 (タナカ ナツミ)	看護学科	学長賞	渡邊 聖乃 (ワタナベ セイノ)	看護学科
学業成績優秀者	橋本 希 (ハシモト ノゾミ)	看護学科	学長賞	川口 香織 (カワグチ カオリ)	社会福祉学科
学業成績優秀者	富田 鮎美 (トミタ アユミ)	看護学科	学長賞	川崎 絵美 (カワサキ エミ)	医療福祉学研究所
学業成績優秀者	佐藤 真奈美 (サトウ マナミ)	看護学科			
学業成績優秀者	山口 真奈 (ヤマグチ マナ)	社会福祉学科			
学業成績優秀者	渡邊 幸菜 (ワタナベ ユキナ)	社会福祉学科			
学業成績優秀者	丸田 かおり (マルタ カオリ)	社会福祉学科			

団体

課外活動(団体)	強化サッカー部
課外活動(団体)	軟式野球部

平成23年度 事業計画について

事業期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

1 卒業生名簿管理

今年度卒業生からの連絡先収集し、名簿管理システムにて一元管理をする。

2 同窓会費

後援会より今年度卒業生の補助金納入。特別会員入会依頼。

3 コミュニケーション活動

同窓会ニュースレター「伍桃だより」10月発刊、同窓会誌「伍桃」3月発刊、ホームページの運営・管理

4 組織の拡大

年5回の役員会実施。5月に第7回総会実施。首都圏支部の活動の活性化。

5 情報提供・交換

同窓会ホームページ・同窓会誌を利用して、各種情報の発信。

6 交流事業の確立

第2回ホームカミングデー実施。会員の大学訪問、学生の職場訪問を実施。

7 支援活動

国家試験合格祈願鉛筆配布。学生表彰副賞の贈呈。

平成22年度収支決算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

I. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
1. 会費収入	10,760,000	10,921,000
2. 収入利息	3,000	3,674
3. 雑収入	0	0
4. 前年度繰越金	5,859,139	5,859,139
収入の部合計	16,622,139	16,783,813

II. 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
1. 事業費	5,000,000	3,114,697
2. 会議費	250,000	141,797
3. 管理費	1,710,000	1,094,188
4. その他	1,080,000	241,043
支出の部合計	8,040,000	4,591,725

平成23年度事業予算

平成23年4月1日～平成24年3月31日

I. 収入の部

科 目	予 算 額
1. 会費収入	12,160,000
2. 収入利息	3,000
3. 雑収入	0
4. 前年度繰越金	12,192,088
収入の部合計	24,355,088

II. 支出の部

科 目	予 算 額
1. 事業費	5,500,000
2. 会議費	400,000
3. 管理費	2,210,000
4. その他	1,080,000
支出の部合計	9,190,000

※【正会員数】学部卒業生2,816名、大学院修了生92名、計2,926名(H22年度卒業生607名、修了生19名)

首都圏、
関東地区に
お住まいの
方へ

首都圏支部って 何をしているの？

「同窓会の集まりに参加したいけど、新潟は遠いから・・・」とよく聞かれる言葉です。ご存知でしたでしょうか？実は、東京、千葉、神奈川、埼玉、山梨、群馬、茨城、栃木エリアにお住まいの会員の方々を対象として、都内のサテライトキャンパスに首都圏支部の集まりがあります。

まだまだ新しい支部ですので、次の活動を考えています。
お気軽ご参加ください。

- ①首都圏で働く卒業生と交流
(近隣の施設や病院などの情報交換を考えています)
- ②近隣の同窓生同士での勉強会
- ③なんでも気軽に
話ができるような食事会
- ④首都圏支部総会の開催

東京でミーティング
するので来てね。



同窓生の近況報告「同窓生は今」

利用者本位で張りのあるサービスを

Q:現在携わっていらっしゃる仕事について

ワークセンター大山台の生活介護事業で生活支援員をしています。利用者の方の送迎や希望がある方には入浴サービスも行っています。また、創作活動や地域のボランティアの方と交流も積極的に行い、卓球や書道に音楽レクなど色々な活動を通してゆったりとした中にも張りのある毎日を皆さんが送れるよう支援しています。

Q:仕事に対するモットー

現在、私の配属先では20代～70代と幅広い世代の方が利用されています。年齢や障害に応じて必要な支援も様々でひとりひとりの対応が異なります。個々のニーズをしっかりと組み取り、ひ

とひとりひとりが張りのある充実した毎日を送れるよう支援していくことをモットーとしています。

Q:今後の夢や目標

社会人5年目になりますがまだまだ支援員としては半人前なので、毎日たくさんの経験を積んで支援員としても人としても大きく成長し一人前になることが目標です。また、幅広い視野を持ち、たくさんのことに興味・関心を持てるようになりたいです。



社会福祉法人新潟市中央福祉会
ワークセンター大山台 勤務

金子 達也さん 2007年卒
(社会福祉学科)

【平成23年6月同窓生サイトに掲載された記事より抜粋】

「現在」を大切にする！

Q:現在携わっていらっしゃる仕事について

杏林大学保健学部、作業療法学科の助教として働いています。仕事内容は、専門分野の研究、学生への指導、学科の管理・運営の補助です。また、一期生の担任という役割を与えていただいた為、授業以外でも学生と携わる時間が多く、様々なサポートができるように努力しています。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

“どのように先生から指導を受けたか”、“どんなことを教えてもらったか”といった、自分自身の大学時代の経験を参考に、学生と接するようにしています。また、専門分野において一つの事を深く追及する先生方の姿を見て、研究に対する興味を持つことができました。

Q:仕事に対するモットー

「現在」を大切にする!ということです。研究にしても、教育にしても、日々の積み重ねが重要だと考えています。現在、この瞬間に感じた事や行動したことが、将来に大きな変化を与えるかもしれないということを意識しながら、様々な事に取り組むようにしています。



杏林大学 保健学部
作業療法学科 勤務

原田 祐輔さん 2006年卒
(作業療法学科)

【平成23年7月同窓生サイトに掲載された記事より抜粋】

病院管理栄養士として、患者さんのため、自分のため

Q:勤務先について

新潟県立小出病院です。夏は暑く、冬は豪雪ですが、食べ物や水はおいしいです。職員同士の仲もよくとても楽しい病院です。病院自体は古いですが、栄養課を含め職員全員がやる気を持って仕事に打ち込んでいてとてもやりがいのある職場だと思います。

Q:現在携わっていらっしゃるお仕事について

直営給食のため、給食管理から栄養管理業務、栄養指導と一通り携わっています。今年度からNST業務も担当し、管理栄養士をしてやりがいのある仕事をさせてもらっています。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

仕事内容というよりは、仕事をやっていく中で心の支えになっていると思います。

Q:仕事に対するモットー

患者さんは待てない。患者さんを最優先に。

Q:今後の夢や目標

医師、看護師、コメディカルスタッフに認知してもらい、栄養に関しては常に相談してもらえるような信頼のできる管理栄養士を目指したいです。



新潟県立小出病院
栄養課 勤務

石添 拓さん 2009年卒
(健康栄養学科)

大学卒業後・・・

Q:勤務先について

医療法人愛広会 相川愛広苑に勤務しています。海と山に囲まれたベッド数150床の老人保健施設です。現在ではリハビリスタッフも11名となり、多職種が連携し、利用者様・ご家族様のニーズを満たせるようにサービスの提供を行っています。

Q:現在携わっている仕事について

様々な利用者様がいますが、高次脳・嚥下・ディサシアの他に歩行訓練・ROM訓練、作業提供を主とした集団訓練・栄養管理等と幅広く携わっています。その中でも特に口腔ケアと栄養管理を重要視しています。

Q:仕事に対するモットー

私は「利用者様がより良い施設生活を送るためにできること」を常に考えるように心掛けています。単調になりやすい施設生活から健康を維持し、毎日楽しく生活できるよう努めて行きたいです。

Q:今後の夢や目標

入社2年目の目標は、幅広く行っている業務内容について深く学び、より良いサービスの提供を行うことです。その結果として利用者様のQOLの維持・向上、在宅復帰の支援ができればと考えています。



医療法人愛広会
相川愛広苑 勤務

本田 一輝さん 2010年卒
(言語聴覚学科)

色々な人との出会いに感謝して・・・

Q:進学先(大学院)について

本年4月より、新潟医療福祉大学大学院に進学しました。また、5年間勤めた病院を退職し、本年7月から作業療法学科の助手として勤務し、9期生の副担任をさせてもらっています。

Q:大学院の生活、研究内容などを

大学院修士1年の前期はまだ県外で仕事をしながら通学していたので土曜日の集中講義を中心に受講しました。大学院での授業は大学で学んでいたことよりも一歩進んだ内容が多く、非常にためになります。また大学院での研究プランに関してはまだ模索中のため、文献を読んだり、教授や大学院生の研究の被験者などを行い、色んなことを学んでいます。

Q:仕事、研究に対するモットー

私のモットーは「日々感謝」です。これは現在の仕事や研究に対することだけではなく、生活全般に対するものですが、現在のように仕事をしながら大学院に通うことができるのも、家族や友人、以前の職場や現在の職場など多くの方々の理解と協力があるからこそだと思っています。その結果として今の生活があるということを実感し、感謝の気持ちを常に持ち続け、毎日を無駄に過ごさないようにしたいと思います。

Q:今後の夢や目標

夢・目標はどんなに歳をとっても常にチャレンジし続けること!そして、色んな出会いの中で相手にとって「出会って良かった!」と思ってもらえるような人物になりたいと思っています。



新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所
保健学専攻 作業療法学分野在籍

岩波 潤さん 2006年卒
(作業療学科)

同窓会 TOPIC

健康スポーツ学科2005年卒業生が アスレティックトレーナーに合格!



健康スポーツ学科2005年卒の小林なつきさんが、日本体育協会の主催する公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験に合格しました。小林さんはバドミントンの選手でしたが、高校時代にアキレス腱を断裂。そのリハビリテーションに苦労したことがきっかけで、アスレティックトレーナーの道へ進むことを決心し、本学へ入学されました。入学後はアスレティックトレーナーを目指す他の学生と協力して「トレーナーズクリニック」というサークルを立ち上げ、同時に選手としても活動を続けるなど精力的な学生生活を送りました。4年次には本学バスケットボール部と陸上競技部でアスレティックトレーナー現場実習を行い、また卒業研究では「スポーツ競技選手のコンディショニング把握方法における事例研究」という課題に取り組むなど、自身の夢の実現に向けてひたむきな努力を重ねました。

卒業後はゼミ教員の紹介で現職、医療法人アレックス 上田整形外科クリニック スポーツ関節鏡センターに就き、その後も研鑽を重ねて今回の栄誉に浴しました。

看護学分野修了生が 『認定看護管理者認定試験』に合格!



2010年に本学修士課程看護学分野を修了した本間美知子さんが、日本看護協会の主催する認定看護管理者認定試験のサードレベルに合格し、認定看護管理者として登録されました。

本間さんは病院や施設の看護管理者として既に多くの経験を持っていらっしゃいましたが、本学修士課程の看護管理学特論と看護管理学演習を履修し、看護管理の理論から研究方法など経験をベースにした看護管理領域を体系化して学ぶことで、現場管理者としての高度専門知識を身につけ、この度の認定審査合格につなげることができました。

本間さんのコメント

「大学院で学ぶことができたのは、指導してくださった看護管理の本間教授はじめ、苦しい時に背中を押してくれた学友の励ましがあったからです。『生涯学習』のことは胸に抱いて、これからも看護職者として大学院での学びを財産に、認定看護管理者としての資格と名に恥じないよう、職場の働く環境を整え、離職防止・ワークライフバランスなどを考慮しながら一人の看護管理者として学び働き続けたいと思います。」

理学療法学科

理学療法学科 准教授 佐藤 成登志



卒業生の皆さんお元気ですか。知識・技術も一人前になって、大勢の患者さんに喜ばれながら大活躍のことでしょ(^^^)

さて、23年3月の国家試験合格率は、全国平均74.3%と大変厳しい状況でした。そのような中、本学科は90.5%と高い合格率で先輩たちの伝統を守っています。また、就職率も100%をキープしています。特に今年前半は大きなイベントはありませんでした。これからの数年は、教育と研究をより成熟させていく時期なのかもしれません。

学外実習と連携した学内実習も充実してきました。数年前から実施している「面性オスキー・評価オスキー・総合オスキー」(模擬患者による客観的臨床能力試験)は、住民の方々のご協力を得ながら学生の臨床力を付ける大きなシステムになってきています。

各教授陣の研究は、基礎・臨床・地域・国際・等、それぞれの専門性を生かした大変興味深い内容です。一緒に研究をしませんか?働きながら大学院で勉強している方も大勢います。一度ホームページを是非ご覧ください。

秋には、新潟県理学療法士会が担当する「第30回関東甲信越ブロック理学療法士学会」が朱鷺メッセで開催されます。1,500名以上の参加を募る大きな学会です。本学科の小林先生が学会長で、現在教員総出で準備に当たっています。

これからも益々、皆さんの職場で後輩達がお世話になるかと思いますが、ご指導宜しくお願い致します。

写真は、今年の1年生の基礎ゼミでお花見に行った風景とオスキーの様子です。



言語聴覚学科

言語聴覚学科 准教授 吉岡 豊



学科の近況報告ですが、まず人事については2011年3月末をもって大橋靖先生が退職されました。先生のご退職は本当に残念ですが、引き続き非常勤講師として講義をしていただいています。また、鈴木真由美先生も2011年7月末をもって退職され、臨床の最前線に戻られました。女性の多い本学科では鈴木先生に相談した卒業生も多かったのではないのでしょうか。ただ、鈴木先生は新潟市内に勤務されていますので時々お会いすることは可能です。退職された先生方がおられる一方で、本年4月より栗崎由貴子先生が明倫短期大学から赴任してこられました。専門は成人言語障害で、失語症やDysarthria関係の講義を担当されています。

学科内の人の動きは以上のとおりです。その他では、以前紹介した言語発達支援センターの知名度が近隣地域で上がったようで、新しい方々が続々と来られかなり盛況となっています。このセンターでは学生が臨床見学も出来るようにとの考えもあるのですが、3年生は講義の時間が多くなかなか見学することが出来ません。いつの日か学生教育にもっと活用できるように工夫をしたいと考えています。



作業療法学科

作業療法学科 講師 能村 友紀



卒業生の皆さんお元気でしょうか?今年は東日本大震災、新潟・福島集中豪雨による天災に見舞われ、忘れることができない年となりました。卒業生の皆さんも前を向いて頑張っていることと思います。

さて、作業療法科では2名の卒業生が助手として着任するという明るいニュースがありました。4月より4期生の吉沢智子先生(写真上)、7月より2期生の岩波潤先生(写真下)です。お二人ともこれまでの社会経験を生かして学生指導や学科運営の仕事を担っていただいております。卒業生が臨床経験を経て、母校の教員になるということはとても嬉しいことです。

今年の4月には11期生が入学しました。春には1年生と学科教員混合チームによるドッジボール大会を開催して大いに盛り上がりました。教員も学生に負けず劣らずエキサイティングしていました。

現在、3年生(9期生)は評価実習に向けての準備、4年生(8期生)は総合臨床実習を終えて就職活動、国試学習、卒業研究に取り組む、皆さんが本学で経験してきた同じ過程を歩んで作業療法士を目指しています。初心を忘れずに健康で充実した日々を過ごして欲しいと願っています。



義肢装具自立支援学科

義肢装具自立支援学科 助教 飯塚 尚



本年4月から義肢装具自立支援学科教員になりました飯塚と申します。本学科の近況をお知らせ致します。義肢装具自立支援学科は2007年4月に開設し、本年3月、初めての卒業生(1期生)を社会に送り出しました。私は、彼らと入れ違いに教員になりましたが、義肢装具士という医療専門職に、さらに福祉用具に関する資格をもつ専門職は日本で初めてのことで、手足の不自由の方のみならず、すでに訪れている高齢社会を支援する人材を育成する学科に赴任できたことは、私自身も幸いなことと思います。

8月に入り、学生は定期試験まっただ中で、目ざす専門職にむけて勉強に励んでいるところです。3年生と4年生においては8月15日より約1ヶ月の間の福祉機器、車いす・シーティング、靴関連の臨床実習に行きます。また今年度はタイへ2名の実習生を送り出し、より国際的な交流を深める年となりました。特に4年生は4年間の集大成の一つとして卒業研究の中間発表会もあり、より専門性と学術性を高めているところです。中には一期生の研究を引き継ぐ学生もあり、当学科の伝統が少しずつ芽生えてきたことを感じとれます。臨床実習等でご面倒を見ていただける機会がございましたら、厳しくも温かい目で見守ってあげてください。



健康栄養学科

健康栄養学科 講師 山崎 貴子



皆様、お元気ですか?今年は、東日本大震災によりQOLサポーターとして、また一人の人間として、何が出来るか、何をしたらよいかを考えさせられる年になりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、今春には7期生が卒業、11期生が入学し、現在、健康栄養学科の卒業生は331名、在学生は176名となりました。教員では助手の小川朋子先生が退職され、新たに本学大学院修士課程を修了された串田修先生が助手として着任されました。現場で活躍されている卒業生が増えるにつれ、授業や施設見学、臨地実習の際に、皆様にお世話になることが多くなってきました。学科では、国内外の見学研修や基礎ゼミでの施設訪問を通して、学生が低学年のうちから積極的に管理栄養士の活躍する場を知る機会を設けています(写真は3月のアメリカ研修のもの)。皆様の所にもお願いするかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

また、学科の近況は大学ホームページ内の健康栄養学科のブログ「ニュートリ放送局」にも掲載しています。是非ご覧になってください。そして卒業生の皆様も職場等での活躍をブログに載せませんか?原稿をお待ちしております。



健康スポーツ学科

健康スポーツ学科 講師 永野 康治



卒業生の皆様、こんにちは。私は今春本学科に赴任しました永野康治です。宜しくお願いいたします。私の専門はアスレティックリハビリテーションやリコンディショニングで、柵木先生と共にアスレティックトレーナー関連の科目や実習を担当します。私の他にも今春から学校保健を専門とされている杉崎弘周先生、本学科の1期生である吉田拓矢先生が赴任されました

さて、アスレティックトレーナー関連では今年度うれしい知らせがあり、本学科の卒業生から初の日体協公認アスレティックトレーナー合格者ができました!!学内でもアスリートサポートセンターを中心としたトレーナー実習が本格的にスタートしました。また、スポーツの本場、アメリカへのトレーナー研修も計画中です。今後、本学科から数多くのトレーナーが生まれる日も遠くないかもしれません。



看護学科

看護学科 准教授 松井 由美子



卒業生の皆様、お元気で活躍のことと存じます。看護学科も今年、第2回目の卒業生を無事に送り出すことができました。今年の看護師国家試験の合格率は100%達成という素晴らしい結果となり皆で大喜びしましたが、今は次年度の国家試験に向けて気を引き締め取り組んでいるところです。

看護学科では、開学当初から国際交流にも力を入れ毎年多くの学生さんが海外研修に参加しています。6月には看護学科の海外研修報告会が開催され、米国ロサンゼルス研修に参加された学生5名および教員2名、英国ロンドン研修に個人参加された学生1名から充実した研修の内容が報告されました。また、フィリピン研修に他学科の学生と参加された看護学科の学生1名は英語FDで、研修内容を英語で発表しました。

今年3月には英国イーストアングリア大学の看護・助産学校との国際交流締結に向けて看護学科から2名の教員が訪問し、現在締結文書の交換に入っています。締結後はイーストアングリア大学と本学との間で学部生・大学院生・教職員の学術的な交流が進められ、看護学科だけではなく他学科を含めた連携教育も視野に入れて、益々発展していくことが期待されています。



社会福祉学科

社会福祉学科 准教授 渡邊 敏文



卒業生の皆様、元気で活躍のことと存じます。今回は地域を基盤とした学生の学びについて紹介します。まずは、新潟水俣病を学ぶ取り組みと患者さんとの交流プログラムについてです。本年3月、社会福祉学科の学生約60人が東蒲原郡阿賀町の旧昭和電工鹿瀬工場の跡地を見学し、その後、阿賀野市千唐仁の多目的集会所で新潟水俣病の患者さん6人と交流しました。40年以上経った現在でも、手・足の痺れに悩まされている人々から直接聞いた話は、学生にとって大きな学びとなりました。また同時に、その学びを地域に発信していくことや後世に伝えていく責任なども感じとったようです。その後も、学生は阿賀野市での新潟水俣病のドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」の上映会や講演会でボランティア活動をおこない、患者さんとの交流会にも継続して参加しています。

この他、東北大震災で被災された方が避難している豊栄総合体育館でのボランティア活動や、豊栄駅前サテライトキャンパス「New街」における地域住民への介護技術講習会の活動など、地域を基盤とした様々な活動を展開する中で、生きた学びを重ねているところです。



医療情報管理学科

医療情報管理学科 学科長・教授 福島 正巳

この春の東日本大震災で被災され犠牲になられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

そしてこの未曾有の大災害は、医療・福祉の領域にも様々な問題を投げかけています。微力ながら当科もこの問題に取り組まねばと思っています。

ところで、『医療経営管理学部医療情報管理学科』については、同窓生の皆さんには馴染みの薄い学科だと思います。平成22年4月に本学9番目の学科として開設されました。今年で2年目。新しい学科なのです。

当科は、現在の医師不足、急速に進むIT化、医療をめぐる経営環境の悪化等の問題に対処するべく、メディカルクラーク・ドクターズクラークの養成、電子カルテに代表される医療のIT化に対応出来る人材の養成、そして、医療機関のマネージメントを支える人材の養成をその使命としています。

東日本大震災の津波により数万人のカルテが失われ診療に大きな支障を与えた事実は、これからのカルテを含む医療情報のあり方に問題を投げかけました。解決の方向は、様々な問題をクリアしなければなりません。『IT技術の活用』以外にはないように考えます。

病病連携・病診連携、医療機関と介護保険施設等との連携を図るために情報の共有とその活用は不可欠です。

そんな時代に9番目のQOLサポーターとして活躍出来る人材の養成を目指しています。



臨床技術学科

臨床技術学科 教授 戸島 知之

臨床技術学科は、新潟医療福祉大学における10番目の学科として平成23年4月1日に発足した、出来立てほやほやの学科です。当学科は臨床工学技士と臨床検査技師の二つの国家資格を持つ臨床技術者育成のために新設されました。高度先端治療を行う医療現場では、医師と密接に連携し医療資格の垣根を越えたより幅広い業務に対応することのできる専門家の必要性が、今後ますます大きくなることが予想されます。このような動きに対応するために他大学に先駆けて当学科が新設された訳です。

初年度は99名の新入生を迎えました。発足時点で9名の教員が配属され、前期では理工学系の電気工学を含む6つの専門科目の講義を終了しました。専門科目の習得には、物理、化学、生物などの理解力が必要なので、これらの科目の基礎の講義も並行して行いました。学生にとってはかなり難解な専門科目もあり、最初は戸惑いもあったようですが、教員および学生間の交流が深まるにつれてそれらも解消し、現在はみな元気に勉学に取り組んでいます。

また当学科では、国際交流活動に学生が積極的に参加して、幅広い視野を養うことができるようにするために、設立以来ハワイ大学との連携交渉を進めてきました。8月に協議は成功裏に終了し、来年2月か3月に第一陣（15名程）をハワイ大学に送りこむ予定で現在準備を進めています。



Information

第11回 新潟医療福祉学会学術集会のご案内

大会テーマ

「保健・医療・福祉の連携」

シンポジウム

『高次脳機能障害支援：新潟における展開』

会場

新潟医療福祉大学 〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地

大会長

精谷 政代

新潟医療福祉大学
医療技術部 言語聴覚学科長

プログラム PROGRAM

9:30 会場（受付開始）	13:30 シンポジウム
10:00 会頭挨拶	高次脳機能障害支援： 新潟における展開
10:15 一般演題	
口演セッション及びポスターセッション	
12:15 新潟医療福祉総会	16:30 閉会



今年度の新潟医療福祉学会学術集会は、平成23年10月22日、新潟医療福祉大学を会場として開催します。今年度の学術集会では『保健・医療・福祉の連携』を大会テーマに掲げ、『高次脳機能障害支援：新潟における展開』と題したシンポジウムを行ないます。平成22年度に新潟県にも精神保健福祉センター内に高次脳機能障害相談支援センターが設置され、また、保健、医療、福祉、教育の各分野においても、医療的リハビリテーション、在宅生活支援、就業支援、家族支援と家族会の活動など、さまざまな展開が始まっています。まさに大会テーマである保健・医療・福祉の連携が必要とされる領域です。今回のシンポジウムでは、新潟県下の各分野から6人のシンポジストをお招きしました。皆さんに現場での活動をご報告いただき、今後の課題も含めて議論を深めたいと考えています。

また、例年どおり一般演題の発表もあります。今年は学内外から70題近くの研究発表の申込がありました。この学術集会を活かした発表と議論の場とすることで、保健、医療、福祉の発展に寄与したいと願っています。

学会当日、たくさんの卒業生のみなさんに会えることを楽しみにしています。

大会事務局

新潟医療福祉大学 医療技術学部 言語聴覚学科

〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地 TEL・FAX 025-257-4507

「発話の非流暢性(吃音)の研究」

言語聴覚学科
渡辺 時生



映画「英国王のスピーチ」が第83回アカデミー賞を受賞しました!私たち言語聴覚士にとって大変喜ばしい出来事です。speechつまり「話しことば」の障害が主題であり、吃音で悩んでいた主人公アルバート王子が、言語聴覚士ライオネルの力を得て吃

音を克服し晴れて英国王ジョージ6世に就任するという感動の物語です。

吃音は主に幼少期に発症し、性差があり男性に多く発症率は約5%です。多くは自然治癒するため成人での有症率は約1%となります。原因は不明ですが、早期に適切に対応すれば自然治癒しない子どもでも重症化しない傾向にあります。慢性化した成人であっても流暢性発話技法の習得や心理的アプローチなどは有効であると考えられています。

本学の言語発達支援センターでは、成人も含めて吃音の治療を行っています。そして、卒研ゼミ学生たちとともに吃音の研究にも取り組んでいます。今年の基礎ゼミでは「英国王のスピーチと吃音」というテーマで学生たちがオープンキャンパスでポスター発表を行いました。楽にどもる、という象徴的なことばがあります。QOLを豊かなものにするという視点でこれからも支援の姿勢を重視して取り組んでまいります。



「異文化を背景に持つ子どもたちのDV被害に関する実態把握と支援プログラムの開発」

社会福祉学科
寺田 貴美代



ドメスティック・バイオレンス(以下、DV)の被害者とは一般的に配偶者間暴力の被害者をさします。ただしDVのある家庭で育つ子どもたちは心身に多大な影響を受けやすく、DVと児童虐待には密接な関係があることが明らかとなっています。特に近年は、日本人男性と外国人女性との国

際結婚が増加し、その子どもたちのDV被害が急増しています。そこで現在、「異文化を背景に持つ子どもたちのDV被害に関する実態把握と支援プログラムの開発」というテーマで研究に取り組んでいます(文部科学省科学研究費補助金若手B課題番号23730550)。

また昨年は、新潟県による新潟水俣病関連情報発信事業の一環として、丸田ゼミと寺田ゼミのメンバー等を中心として新潟水俣病に関する学習プログラムを実施しました。阿賀野市や阿賀町などにて患者の方々交流会も行い、学生さんからは、「実際に現地を見ることで、新潟水俣病問題を改めて身近な問題に感じた」「将来、社会福祉の専門職となる上でこの問題を理解する重要性を改めて痛感した」などの声があがりました。そして、患者の方々からは「若い学生さんとお話できることが喜びであり、とても嬉しい」と仰っていただきました。今後も、社会的弱者の方々への支援に関する取り組みを積極的に行って参りたいと思います。



書籍紹介 皆さんの研鑽の為に、先生方の著書や、お薦めの本を紹介していきます。今回はこの2冊!

野球職人の魂 - プレないモノづくりのエートス -

著者: 西原康行 出版社: 新潟日報事業社 ISBN: 9-784-86132-450-5
定価: 2,500円(税込) ジュンク堂、紀伊国屋等、大手書店にて好評販売中!!

本書は、野球用品を作る職人のエスノグラフィから現代社会のあり方を考える書籍です。決められた時間の中で合理性が追求されるサッカー、合理的な動きが勝敗を左右する陸上競技や水泳は、いずれも近代日本の大量生産と消費、合理性の追求と符合します。一方、野球は、打球時や攻守交代の「間」、大きさや形状の違う野球場というように、牧歌的であり、不合理であり、人間臭さが漂います。また、野球グラブ、バットは工場的大量生産で作られるわけではなく、職人の暗黙の知によって手作業で作られます。さらに野球選手は、この職人の暗黙のレベルで作られるグラブやバットを見事に使いこなします。本書から、「真のプロフェッショナルが、権威主義に陥らず、自分勝手に振舞わず、流行りものに一喜一憂せず、真摯にものごとや人に接すること」や現代社会のあり方を読み取ってほしいと思います。



アロマセラピー入門 日々の看護に生かすホリスティックアプローチ

今西二郎、荒川唱子編集
日本看護協会出版会 2010年

アロマセラピーとは、芳香植物から抽出したアロマオイル(精油)の効能を利用した療法で、医療機関や福祉施設などでも広く利用されています。本書は、補完・代替医療としてのアロマセラピーの解説や、看護ケアとしての利用方法を具体的に紹介した図書です。マッサージなどアロマオイルの利用の解説だけでなく、がん患者、終末期患者、高齢者・妊婦・産婦・褥瘡などの症例ごとの利用方法が記述され、医療現場での事例も紹介されています。著者が「看護のあらゆる場面を想定して、アロマセラピーをどのように利用するかに重点を置いて企画立案した」と述べているように、医療、介護福祉現場におけるアロマセラピーの入門書としてご活用ください。

図書館からのお勧めの一冊



第7回 卒業式・大学院修了式

3月15日(火)、朱鷺メッセにて「平成22年度 新潟医療福祉大学 第7回卒業式・大学院修了式」が実施されました。

今年で7回目を迎えた今回の卒業式では、平成19年4月に新設された義肢装具自立支援学科の第1期生が初の卒業生を送り出し、601名の学部生と大学院生25名がこの日を迎えることができました。

東日本大震災により被災された皆様に、哀悼の意を表し参列者全員にて黙祷が捧げられました。山本 正治学長から各学科代表へ学位記が手渡され、学業成績優秀者や、団体・個人の課外活動・社会活動において優れた成績・功績を残した学生56名が表彰を受けました。卒業生を代表して看護学科 渡邊 聖乃さんより答辞が述べられ、本学からの記念品が理学療法学科 佐藤 幸望さんに手渡されました。式の最後には、吹奏楽部による記念演奏が行われ、感極まって涙ぐむ学生の姿も見られました。



第11回 入学式

4月8日(金)、朱鷺メッセにて「平成23年度 新潟医療福祉大学 第11回入学式」が挙行されました。

本年4月に日本初となる臨床工学技士と臨床検査技師のWライセンス取得を目指す臨床技術学科を新設し、全4学部10学科体制で新年度を迎え、今回の入学式では、学部生874名、修士課程21名、博士後期課程5名の合計900名の入学が許可されました。

東日本大震災により被災された皆様に、哀悼の意を表し、参列者全員で黙祷を捧げ、山本学長より「新潟医療福祉大学教職員一同、皆様の目標を実現するために惜しみない支援を致します。これからの日本の保健・医療・福祉・スポーツ分野を支える皆様を応援しています。」との式辞が述べられました。言語聴覚学科新入生より誓いの言葉が述べられ、震災による被災者を悼みながらも新たなスタートを迎え、希望に満ちた雰囲気の中、式を終えることができました。



新校舎「第6研究・実習棟(N棟)」の竣工式



3月28日(月)、全学的に利用できる学生ラウンジと336名が収容できる大講義室、そして本年4月新設の医療技術学部 臨床技術学科の実習環境を備えた「第6研究・実習棟(N棟)」の竣工式が執り行われました。

■ 第6研究・実習棟(N棟)の主な仕様 ■

延べ床面積2,659.89㎡、地下1階(駐車場)から地上5階の6階層建て、1階に218席の学生ラウンジ、2階には講義室と総合実習室、3～5階は臨床技術学科の専有施設として基礎工学実習室、臨床工学実習室、微生物実験室、化学実験室、顕微鏡室が配置されています。

「微生物実習室(ヒトへの感染の可能性がある病原細菌などを用いて実習を行う施設)」には、バイオハザード対策として循環式紫外線空気清浄機やクリーンベンチを室内に設置し、また「顕微鏡室」には最新デジタル顕微鏡を学生1名に1台配置するなど臨床技術者を育成する為の充実した研究・教育環境を整えています。

名誉教授称号授与式

5月25日(水)第3厚生棟 3階1A301教室にて、新潟医療福祉大学名誉教授称号授与式が開催されました。

今春退職をした大橋 靖元言語聴覚学科教授、大鍋 寿一 元義肢装具自立支援学科教授、和唐 正勝 元健康スポーツ学科教授の3名に、これまでの教育及び学術研究活動の顕著な功績を称え、名誉教授の称号が授与されました。

授与式と共に記念撮影も行われ、盛大なうちに終了致しました。



強化スポーツ



陸上部

5月21(土)～22(日)に長野市営陸上競技場において「第85回北信越学生陸上競技対校選手権大会(北信越インカレ)」が開催され、男子は史上初となる総合&トラック優勝、女子は昨年に続き総合4位の成績を収めました。

本大会の優勝者には「日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)」の出場権が与えられ、本学から6名が見事に優勝を果たし、全国の舞台へ駒を進めました。

優勝者、上位入賞者の多くが3年生以下の若いチームです。これからより一層の努力を重ね男子は総合連覇、女子は総合3位以内を目標に今後もトレーニングに励んで参ります。



【優勝者】	
男子	200m 山崎 勇哉 (健康スポーツ学科1年) 記録21秒94「自身初の21秒台」
	円盤投げ 土田 祥太 (健康スポーツ学科4年) 記録48m70「見事4連覇」
	ハンマー投げ 佐藤 翔 (健康スポーツ学科3年) 51m39「自己ベストを3m近く更新」
女子	100mH 桑野 沙紀 (健康スポーツ学科4年) 「日本インカレ参加標準記録Bを上回る好記録」
	やり投げ 小林 梨奈 (社会福祉学科4年) 「2年連続3回目の優勝」
	円盤投げ 大野 果穂 (健康スポーツ学科1年) 「初参加で優勝」



水泳部

7月2(土)～3日(日)に名古屋市の日本ガイシアリーナ屋内プールにおいて「中部学生選手権水泳競技大会(中部インカレ)」が開催され、本学水泳部の男子、女子ともに中京大学について総合2位の成績を収めました。この総合成績により男女揃って「日本学生選手権水泳競技大会(全日本インカレ)」の団体出場権を獲得しました。

下山監督のコメント

「今年度より移行した中部支部には、昨年度の全日本インカレ男子総合優勝の中京大学を筆頭に、水泳部の強化に力を入れている大学がひしめいており、厳しい闘いになることが予想されていました。しかし、多くの種目で複数名の決勝進出を果たし、数名が3位入賞を果たすなどの活躍を見せ、初年度から大きな旋風を巻き起こしました。全日本インカレでも多くの自己ベスト更新者を出し、全国の舞台で闘えるようチーム一丸となって頑張っていきたい。」

3位入賞者	100m背泳ぎおよび200m背泳ぎ 第2位 奈良 梨央 (健康スポーツ学科4年)
	200m個人メドレー 第2位 沼田 裕介 (健康スポーツ学科4年)
	50m自由形 第3位 大森 悠多 (健康スポーツ学科2年)
	200m平泳ぎ 第3位 寒河江 勇介 (健康スポーツ学科3年)
	女子400mリレー 第1位 (奈良梨央、藤野友規、佐藤由菜、山口紗季)
	男子400mリレー 第2位 (大森悠多、高橋拓也、沼田裕介、大友瑛史)
	女子400mメドレーリレー 第2位 (奈良梨央、藤野友規、皆川由佳、山口紗季)
	男子400mメドレーリレー 第2位 (沼田裕介、寒河江勇介、大友瑛史、大森悠多)
	女子800mリレー 第2位 (佐藤由菜、高橋津、奈良梨央、藤野友規)
	男子800mリレー 第3位 (大友瑛史、松岡翼、浅野修平、沼田裕介)



学友会



吹奏楽部

今年の吹奏楽部は例年に増して部員の数も増え、伍桃祭に向けてより一層演奏に力を入れて練習しています!吹奏楽部の主な活動内容は、式典などでの演奏、施設や病院等での依頼演奏、他大学との交流演奏などがあります。部員は男女関係なく仲良しです!

現在は、伍桃祭に向けてみんなが知っている名曲から、本格的な吹奏楽の曲まで幅広く練習しています!ぜひ伍桃祭の吹奏楽部のステージにお越しください★音楽に少しでも興味のある方、私たちと一緒に楽しく活動しませんか!?

1棟107、108で毎週月・木に活動しています!初心者も大歓迎なので、ぜひ一度部室へ足を運んでみてください♪



硬式テニス部

全日本インカレ出場!

硬式テニス部男子シングルスおよびダブルスで、小林司選手(健康スポーツ学科3年)と樋口巧紀選手(健康スポーツ学科4年)が、昨年に引き続き全日本インカレへの出場を決めました!

全日本インカレの予選となる北信越大会(平成23年4月29日～5月6日)は、富山県常願寺川公園テニスコートで行われ、昨年男子シングルスで優勝した小林選手は、今大会では惜しくも準優勝でしたが、全日本インカレへの出場権を獲得しました。

また、昨年優勝の男子ダブルスでは、樋口・小林の昨年と同ペアで今年も連覇を果たし、全日本インカレの出場を決めました。

硬式テニス部は、樋口選手と小林選手が競技活動をリードしながら、学生が主体的にトレーニングに励み、近年、試合での好成績が続いています。8月下旬に行われる全日本インカレでは、1試合でも多く勝ち進み、大舞台を満喫して欲しいと思います。

以下は、全日本インカレに出場を決めた樋口選手と小林選手のコメントです。

「昨年に続き男子ダブルスを連覇することができ、とても嬉しく思っています。シングルスでは優勝こそ逃したものの準優勝することができました。現在は、8月のインカレに向けて自分たちの課題を明確にしながらか練習をしています。8月にまた良い結果が報告できるように頑張ります。さらに今後は、私たちのほかにも後輩たちが男女ともに大会に出場し、活躍してくれると思います。これからも硬式テニス部の応援をよろしくお願いいたします。」



・ダブルス優勝 小林司選手(健康スポーツ学科3年)写真左、樋口巧紀選手(健康スポーツ学科4年)写真右

こころに届くいい話

ありがとう

私が初めて受けもった患者さんが退院される日、握手をしながら言いました。その患者さんは自宅の段差で転倒し、大腿骨頸部骨折を受傷してしまった患者さんでした。2ヶ月間の治療により、なんとかT字杖を使い、歩けるまで回復しました。当時、新人だった私は病室を出た時になんともいえない気持ちになりました。それは「自分とやったりハビリはその患者さんにとってbestなものだったのか?」「新人の私ではなく、経験年数が上の先輩がリハビリをした方が、もっと綺麗な歩容で、杖を使用しないで自宅に帰れたのではないか。」という思いでいっぱいになっていたからです。

現在の回復期の病院に勤めて4年目になりますが、未だに患者さんとリハビリをしている時に自問自答して悩んでしまいます。私の病院では患者さんは自分のセラピストを選ぶことはできません。1単位の診療を先輩がやっても、課長がやっても、私がやっても同じ20分です。経験年数を積んでいくと「ありがとう」と言われることが当たり前のように感じてしまっている自分がいることに気づかれます。新潟医療福祉大学を卒業してからは国家試験も定期試験もあります。諸外国のように各セラピストが有する資格や認定により診療報酬が異

なるわけでもありません。「自分は患者さんの願いに応えられたのか…。」どれだけ勉強すれば、どれだけ経験年数を積み上げればその言葉にちゃんと応えられるのでしょうか。もしかしたら、一生満足することはないのかもしれない。その中で、今の自分にできることは、自問自答した新人の時の気持ちを持ち続けることではないかと思います。

私は退院される患者さんと握手をしています。

それは入院から退院まで一緒にリハビリをして頂いたことに対する感謝と「自分はまだまだ足りないんだ、患者さんにはまだ可能性があるんだ。」と言い聞かせるために行っています。そして患者さんから学んだことや失敗したことを、次の患者さんに必ず生かすよう心の中で誓っています。日々の診療の中で、その患者さんにとってのbestな治療が何かはわかりませんが、常に1年前の自分よりも、昨日の自分よりもbetterな治療がしたいと思います。

「ありがとう」こんな自分が言ってもらえるその言葉に、いつか本当に応えられるよう日々努力していきたいと思っています。

理学療法学科3期生

【平成23年3月同窓会サイトに掲載された記事より抜粋】



同窓会からのお知らせ

■ 東日本大震災お見舞い

3月の東日本大震災によって被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、この災害によりお亡くなりになった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

尚、3月末に発行いたしました同窓会誌「伍桃」は被災地域にお住まいの同窓生の方に、お送りすることができませんでした。心よりお詫び申し上げます。今回の「伍桃だより」と共に同封させていただきますので、是非一読下さい。

■ 創立10周年記念

10月28日(金)に新潟医療福祉大学創立10周年記念式典が執り行われます。

同窓会では母校の創立10周年に記念品を贈呈する予定です。そこで、みなさんから記念品にふさわしいと思われる品を募集いたします。母校のますますの発展を祈願し、10周年記念にふさわしい品を贈りたいと思います。是非、

みなさんも一緒に考えてください!

応募先: 同窓会支援室 メールアドレス dosokai@nuhw.ac.jp

※切: 10月10日【月・祝】 たくさんのご意見をお待ちしています。

■ 住所不明者について

お知り合いのご学友で「伍桃」「伍桃だより」がご自宅に届いていない方がいればお知らせ下さい。現在84名の方の住所が不明です。ご学友が転居された、転職されたなどの情報をお持ちでしたら、是非お知らせ下さい。いただいた情報は同窓生名簿管理にのみ利用いたします。

【 討 報 】

佐藤 陽太氏 社会福祉学科2007年卒
鈴木 一史氏 健康栄養学科2010年卒
田中 健介氏 理学療法学科2006年卒
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

同窓会ホームページのお知らせ

皆さん、同窓会ホームページをご覧になっていますか?

母校や同窓会の最新ニュースは日々更新されています。また、活躍している卒業生を紹介する「卒業生は今!」や、「こころに届くいい話」は毎月10日頃に更新をします。是非、定期的にご覧ください。また、同窓生の方に役員が寄稿のお願いをしております。役員から依頼があった際は、ご協力をお願いいたします。



会員情報・住所変更届のお願い

住所、勤務先・氏名の変更などは、同窓会トップページの「会員情報・住所変更届出」から手続きをお願いいたします。

また、同窓会に関するご意見・お問い合わせ・投稿は、E-mail: dosokai@nuhw.ac.jp

同窓会サイトについて(会員情報・住所変更届出)

<http://nuhw-dosokai.jp/>

編集後記

日に日に涼しくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

新潟医療福祉大学は開学から10年が経ち、卒業生や在学生の人数も増えてきました。卒業生と在学生、教員とのつながりを維持することが、同窓会の役割の1つであると感じています。

同窓会では、在学生の県人会設立など新しい活動にも取り組み始めています。また昨年に引き続き、10月9日にはホームカミングデーを開催致します。同窓生にぜひご参加の場を持って頂けるよう、活動して参ります。是非、母校へ足をお運び下さい。

2006年卒 大谷康恵

新潟医療福祉大学同窓会支援室 新潟市北区島見町1398番地
E-mail: dosokai@nuhw.ac.jp TEL: 025-257-4455 (代)

Information 大学院お知らせ

大学院構成



働きながらキャリアアップ!

時間がなかなかなくて...

- 平日の時間は18:10スタート。
土曜・集中授業もあります!
- 長期履修制度で3年間・4年間
かけて履修することも可能です!

学費が...

- 本学卒業生は**入学金半額免除!**
- 充実の奨学金制度
 - ・特別研究奨学金 (給付)
 - ・修学援助奨学金 (給付)
 - ・無利子貸与奨学金 (学費の全額か半額を貸与)
- 修士課程・博士後期課程ともに教育訓練給付金の利用も可能
(申請者には、修了後に10万円が給付されます)

Student Voice

研究成果の社会での応用を目指して

阿部 夏希 修士課程 健康栄養学分野 2年生 (健康栄養学科2011年卒)

私は解剖や実験を伴う研究を行っており、仕事をしながらでは研究を行えないため、フルタイムの院生として在籍しています。フルタイムは時間的にも余裕があるので、他の分野の授業や自分の興味のある内容の授業について思う存分履修することができました。また現在は、今年度から設置された「筋骨格系機能プロジェクト研究センター」の研究補助員になり、忙しい日々ですが、将来的に糖尿病予防や生活習慣病予防につなげられるような研究に没頭しています。



大学の助手として勤務しています

吉田 拓矢 修士課程 健康スポーツ学分野修了 (健康スポーツ学科2009年卒)

私は昨年度大学院を修了し、現在は健康スポーツ学科の助手として仕事に励んでいます。大学院では学業の他、ティーチングアシスタント(TA)としても採用され、担当の先生の指導のもと教育経験を積むことができました。TA経験は自身の指導力の養成や、専門領域の理解を深めることに繋がりましたし、経験が認められて助手として採用されたので、将来的に指導者や研究者を目指す方は、研究以外にも様々な経験が積める大学院への進学をおすすめします。



■ 入試日程

	第1次募集	第2次募集	第3次募集
出願期間	平成23年 9月5日(月) ~ 平成23年 9月20日(火) (消印有効)	平成23年 12月21日(水) ~ 平成24年 1月10日(火) (消印有効)	平成24年 2月6日(月) ~ 平成24年 2月21日(火) (消印有効)
試験日	平成23年 10月1日(土)	平成24年 1月21日(土)	平成24年 3月3日(土)
合格発表	平成23年 10月7日(金)	平成24年 1月27日(金)	平成24年 3月9日(金)

■ 大学院説明会等のお知らせ

大学院説明会

日時 平成23年11月30日(水) 18:30~
場所 管理棟2階会議室
申込 11月25日(金)までに本学にお申し込みください。

上記説明会の他、11月には「研究スキル講座—文献検索から学会発表まで—」と大学院授業の一部を公開する「オープンクラスウィーク—院生体験してみよう!—」の開催を予定しています。詳しい日程や授業内容等、詳細は別紙案内をご覧ください。またホームページでも掲載します。

久しぶりになつかしい先生方の講義を受けてみませんか?多くの卒業生からのご参加をお待ちしております!

お問い合わせ

新潟医療福祉大学 大学院入試事務室

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地

TEL: 025-257-4455 (代表)

FAX: 025-257-4456

E-mail: nyuusi@nuhw.ac.jp

URL: <http://www.nuhw.ac.jp/>

10月9日(日)はNUHWに行こう!

第2回 ホームカミングデー開催

昨年の第1回ホームカミングデーは戦場カメラマン・渡部陽一さんをお招きしての記念講演、同窓生と先生方との交流会と大盛況でした。参加いただいた方々から「とても楽しかった」「大学の発展が見られて良かった」と喜びの声をたくさんいただきました。

今年も同窓生の方が、恩師や旧友の方との交流と絆を深める機会となりますよう期待しています。

イベントスケジュール

14:00～	受付	図書館棟 1 階
14:30～16:00	記念講演	図書館棟 3 階 大講堂

講演テーマ「自分でできる性格診断」

心身医学の世界で診断や医療に用いられる絵画療法。家、人、木などの簡単な絵を描くことによって性格の特性を判断する。これにより参加者は自分の陥りやすいマイナスの精神状態の傾向を知り、また最大の長所も自覚することが可能になる。自分でできる簡単且つ信憑性の高い「自分探し」。

16:30～17:30 交流会 第3厚生棟 (IA棟) 1 階

軽食と飲み物をご用意して、同窓生の皆さんのお越しをお待ちしています。先生方やご友人と一緒に、懐かしい話や近況報告に花を咲かせてください。

※おおたわさんは交流会に参加されません。



講演者 **おおたわ 史絵** (おおたわ ふみえ)
内科医 / 作家

大学病院、総合病院勤務を経て下町の開業医という道を選ぶ。内科医としての様々な人との出会いや経験をもとに、執筆活動も行う。著書も多数あり、自叙伝的エッセイ『女医の花道!』はベストセラーとなった。

現在も医療現場主義の立場で、通常の診察のほか、障害者医療、山岳ボランティア診療などにも携わる傍ら、情報番組コメンテーター、ラジオパーソナリティなど各メディアで活躍中!

申込方法

同封の申込はがきにてお申込下さい。
座席をご用意いたしますので、事前にお申し込みをお願い致します。当日は、伍桃祭も開催しています。

伍桃祭にお越しください!!

伍桃祭ホームページ
<https://sites.google.com/site/gotousai2011/>

日付 10月9日(日)、10日(月・祝) 場所 新潟医療福祉大学
時間 9日 10:00～18:30 10日 10:00～16:30

9日
(日)

- **Special guest live 12:30～**
新潟県出身のゲストによるlive/パフォーマンス
- **学科対抗パフォーマンス大会 15:30～**
各学科の代表が自分の学科を紹介します!歌にダンスに何でもアリです!
- **ビンゴ大会**
ビンゴ参加者には素敵な景品が!!

10日
(月・祝)

- **新潟市北区小中学校吹奏学部演奏 10:00～**
- **他大学サークルによるパフォーマンス 12:00～**
- **大橋トリオlive 14:30～**



地域交流イベント

会場に来てくださった地域の皆さんと触れ合いたい!お話がしたい!学生のことを見てもらいたい、知ってもらいたい!という思いからこんなイベントを考えました。

□ ふれあいスタンプラリー

カードにスタンプを集めて受付に提出すると素敵なプレゼントがもらえます!

出店

手作りFood、カレー、玉こんにゃく、デザート各種など
フリーマーケット、お化け屋敷

※ 時間は変更の可能性があります。